

企業・大学等との連携取組一覧

(令和5年度実施)

No.	企業大学No	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
1	企1	第一生命保険株式会社	(3)高齢者の支援に関すること。	「たからづか地域みまもり隊」事業所として、訪問先や店舗において気になる方や異変を察知した場合にその方の居住地もしくは事業所の住所地を担当する地域包括支援センターに連絡するなど、日ごろからの見守り支援に協力いただいた。 地域住民に多くの見守りの目が向くことで、支援が必要な方の早期発見、対応に繋がっている。	通年
2	企2	大塚製薬株式会社	(2)健康維持・増進に関すること。	コロナ禍において制限された生活を送っていた子どもたちを応援する思いを込め、市立学校園へのサポート及びスポーツ大会へのサポートとして、ポカリスエットなどの提供及びチラシの配布により熱中症対策を啓発いただいた。	6～7月
3	企3	大塚製薬株式会社	(2)健康維持・増進に関すること。	高齢者を対象に熱中症予防を知らせるための啓発チラシを作成していただき、担当課で20,000枚印刷して配布した。	6～9月
4	企4	大塚製薬株式会社	(2)健康維持・増進に関すること。	市のスポーツ推進委員が大塚製薬株式会社が実施している熱中症対策アンバサダー講座を受講し、熱中症対策アンバサダーの資格を取得した。また、夏季少年スポーツ大会参加チームに熱中症対策の啓発としてポカリスエットを配布いただいた。	9月
5	企5	大塚製薬株式会社	(4)防災・減災対策等地域の安全・安心に関すること。	施設の活性化や賑わいを目的に、指定管理者がピピアめふ公益施設で主催する「防災フェス」の中で「カロリーメイトゼリー試飲体験」のイベントを実施していただいた。	1月
6	企6	明治安田生命保険相互会社	(2)市民の健康づくりに関すること。	明治安田生命保険相互会社の営業職員が顧客（宝塚市民）の自宅や職場への訪問及びオンライン面談の際に「健康増進」「介護・認知症」「子育て」の3つの分野に関する市民の関心ごとを聞き取り、同社のタブレット端末を使用して最適な市の行政サービスを直接案内する取組を実施した。	通年

No.	企業大学No	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
7	企7	明治安田生命保険相互会社	(4)産業・観光振興の支援に関すること。	宝塚歌劇市民貸切公演において、同社からの寄附金を活用して観劇機会に恵まれない子どもの特別招待を企画した。ただし、公演2日前に宝塚歌劇側の都合で中止となってしまう実現はしなかった。(寄附金は子ども未来基金に計上)	12月
8	企8	明治安田生命保険相互会社	(6)その他、両者が協議し、必要と認めること	宝塚植木まつり(主催:宝塚市・宝塚市花き園芸協会)の開催に伴い、同社から宝塚市花き園芸協会に対し、祭事助成として寄附をいただいた。本助成は同社が推進する地域貢献や地域の活性化に取り組む「地元の元気プロジェクト」の一環。同様に宝塚植木まつりにも血管年齢測定等のブースを出展していただいた。	4月 10月
9	企9	総合警備保障株式会社ALSOK	(2)地域の安全・安心に関すること。	「たからづか地域みまもり隊」事業所として、訪問先や店舗において気になる方や異変を察知した場合にその方の居住地もしくは事業所の住所を担当する地域包括支援センターに連絡するなど、日ごろからの見守り支援に協力いただいた。 地域住民に多くの見守りの目が向くことで、支援が必要な方の早期発見、対応に繋がっている。	通年
10	企10	生活協同組合コープこうべ	(2)暮らしの安心・安全に関すること。	大塚製薬株式会社が熱中症対策の啓発の為に作成したチラシを、各世帯への戸配の際に配布していただいた。	6~7月
11	企11	生活協同組合コープこうべ	(2)暮らしの安心・安全に関すること。	生理の貧困が社会問題になっていることから、生理用品の寄附をいただき、市役所、公民館、人権文化センター、男女共同参画センターの女性用トイレに生理用品を設置し、困難を抱える女性の支援を行った。	3月

No.	企業大学No	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
12	企12	生活協同組合コープこうべ	(2)暮らしの安心・安全に関すること。	NPO法人空き家相談センターと共催の「空き家対策セミナー＆相談会」を開催(3月8日開催)するにあたり、セミナーチラシ21,000部をコープこうべ宅配利用者へ配布していただいた。	3月
13	企13	生活協同組合コープこうべ	(3)健康増進、食育など市民生活の充実に関すること。	第3次たからづか食育推進計画を策定したことを市民に周知・啓発するため、市立西公民館において食育パネルの展示～地産地消を意識しよう～を開催した。 生活協同組合コープこうべには、「野菜を摂ろう!1日350g以上」をテーマとしてパネルやリーフレット等を作成していただき、食の知識や食の大切さについての情報発信が行えた。	11月2日(木)～ 11月15日(水)
14	企14	生活協同組合コープこうべ	(7)その他、両者が協議し、必要と認めること。	親子育てグループ(未就園児とその保護者によるグループ)の活動を周知するため、各グループ活動エリアの近隣店舗にグループ紹介チラシを配置していただいた。	通年
15	企15	生活協同組合コープこうべ	(7)その他、両者が協議し、必要と認めること。	窓口サービス課や各SS・SCの窓口で手渡す出産祝品を提供いただいた。	4月～
16	企16	ネットヨタ神戸株式会社	(1)子どもたちの職場体験に関すること。	宝塚阪急が主催した「宝塚夏休みおしごと体験2023」において、市内店舗を会場として提供いただいた。	8月
17	企17	ネットヨタ神戸株式会社	(3)スポーツの振興に関すること。	12月24日(日)に開催した第19回宝塚ハーフマラソン大会に協賛いただいたほか、大会当日に燃料電池車を活用したスープ提供ブースを設けていただき、大会の盛り上げに協力いただいた。	12月

No.	企業大学No	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
18	企18	ネットヨタ神戸株式会社	(6)イベントを活用した地域活性化に関すること。	施設の活性化や賑わいを目的に、指定管理者がピピアめふ公益施設・さらさら仁川公益施設で主催する「ミニ四駆体験」のイベントにご協力いただいた。	8~9月
19	企19	ネットヨタ神戸株式会社	(6)イベントを活用した地域活性化に関すること。	施設の活性化や賑わいを目的に、指定管理者がピピアめふ公益施設で主催する「防災フェス」の中で、「水素実験で水素自動車の仕組みを知ろう!」「ミニ四駆体験」のブースを出展していただいた。	1月
20	企20	三井住友海上火災保険株式会社	(5)人材育成や福利厚生に関すること。	意思決定の迅速さや、リスクマネジメントを実際の業務を通じて習得するため、市職員の派遣を受け入れていただいた。	通年
21	企21	エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社	(1)地域活性化に関すること。	宝塚阪急が「宝塚 夏休みおしごと体験2023」を主催していただき、子どもたちが仕事や社会の仕組みを学ぶ機会の提供及び地域の活性化を図った。西消防署、手塚治虫記念館、文化創造館も協力した。	8月
22	企22	エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社	(2)環境に関すること。	小学生を対象に、子どもたちとエコについてオンラインで学ぶ「ECOヒロアカデミー」を開催していただいた。	5~8月
23	企23	エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社	(2)環境に関すること。	小学生を対象に、「食」「衣類」「暮らし」など身近な分野において、地球に良いことや地球の困りごとを解決するアイデア・アクションを募集するコンテスト「ECOヒロアクションズ」を実施した。	8~9月

No.	企業大学No	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
24	企24	阪急阪神ホールディングス株式会社	(4)地域の活性化につながる観光の推進に関すること。	シティプロモーションを全国に効果的かつ効率的に行うため、タレントを起用した紙冊子の設置についてグループ会社等に協力いただいた。	4月～
25	企25	阪急阪神ホールディングス株式会社	(5)ウェルネスを実現するまちづくりに関すること。	高齢者のデジタル活用の不安解消のため、市内の高齢者を対象にスマホの基本的な使い方を学ぶ講習会を実施していただいた。	10月～1月
26	企26	阪急阪神ホールディングス株式会社	(6)教育・次世代の育成に関すること。	阪急逆瀬川駅構内に宝塚市立学校園における活動の成果物を掲示するための専用掲示板を設置していただいた。	7月
27	企27	阪急阪神ホールディングス株式会社	(7)その他、両者が協議し、必要と認めること。	意思決定の迅速さや、リスクマネジメントを実際の業務を通じて習得するため、市職員の派遣を受け入れていただいた。	通年
28	企28	阪急阪神ホールディングス株式会社	(7)その他、両者が協議し、必要と認めること。	車体ラッピングや車内吊りポスターなどで、SDGs達成に向けた多様なメッセージを発信している阪急電車のSDGsトレイン内に、本市のSDGsに関する取組を掲載したポスターを掲示していただき、市の取組について、広く周知することができた。	10月～12月
29	企29	株式会社若水及び特定非営利活動法人銀座ミツバチプロジェクト	(4)教育・次世代の育成に関すること。	銀座ミツバチプロジェクトが講師となり、市立小学校2校の3年生を対象に「ミツバチの生態と人との生活のつながり」をテーマとした環境体験学習を実施していただいた。	10月
30	企30	株式会社若水及び特定非営利活動法人銀座ミツバチプロジェクト	(5)その他目的の達成のために必要な取組に関すること。	宝塚阪急が主催した「宝塚夏休みおしごと体験2023」において、ホテル若水を会場として提供いただいた。子どもたちの貴重な体験の機会となった。	8月
31	企31	大阪ガス株式会社	(1)脱炭素社会の実現に向けた政策の推進に関すること。	省エネルギー推進を周知するため、市内の小学生と保護者を対象に、環境のことを考えながら買い物・調理・食事・片付けを行う「親子で挑戦！エコ・クッキング」を実施していただいた。イベントを通して、家庭でもすぐに取り入れることができる様々なエコな工夫を学んでもらうことができた。	8月

No.	企業大学No	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
32	企32	大阪ガス株式会社	(4)地域活性化にかかる取組に関すること。	ふるさと納税返礼品として、令和5年3月以降「宝塚市おでかけ商品券」の取扱を継続している。令和5年度に関しては、同商品券の認知度向上と利用促進のため、大阪ガス株式会社及び市内宿泊施設の協力のもと客室内に広報物を設置したほか、同社との協働による市内事業所への制度説明の実施、市商工会議所会報誌への記事掲載などにより、年間で200万円弱のふるさと納税寄附金を集めることができた。	通年
33	企33	株式会社ストークス	(1)スポーツの振興、競技力の向上に関すること。	「ストークスコネスト」の一環として、6月17日（日）にこだま病院 presents宝塚バスケフェスを開催し、中学生・小学生向けのバスケットクリニックやチアダンスクリニックを実施した。 また、同じく「ストークスコネスト」の一環として、医療法人社団それいゆ会こだま病院協力のもと、宝塚小学校とすみれが丘小学校にバスケットボールをそれぞれ10個寄贈いただいた。	6月 7月
34	企34	株式会社みなと銀行	(3)次代を担う子どもたちへの教育に関すること。	トライやる・ウィークの事業所開拓のため、みなと銀行様が企業にちらしなど配布して周知していただいた。	4～6月
35	企35	ネットトヨタ神戸株式会社 関西学院大学 株式会社若水及び特定非営利活動法人銀座ミツパチプロジェクト 宝塚大学 エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社		12月14日（木）の宝塚大会議Eグループ事業「光のアート」において、宝塚大学が所有する高性能プロジェクトでホテル若水とナチュールスパの壁面にデジタルアートを投影し、電源はネットトヨタのMIRAI（燃料電池車）から供給するSDGs事業を実施していただいた。	12月

No.	企業大学No	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
36	企36	阪急阪神ホールディングス株式会社	/	3月30日の宝塚大会議Fグループ事業「1万人の宝塚Hands-温（ハンズオン）」において、宝塚温泉と宝塚発祥ウィルキンソン タンサンのPRのため、木の桶に温めた温泉を入れてほっこり体験できるハンドSPAを実施するとともに、宝塚温泉認知度のアンケート、ガチャで記念品の抽選、温泉缶バッジのプレゼントを行っていただいた。	3月
		株式会社若水及び特定非営利活動法人銀座ミツバチプロジェクト			
		芸術文化観光専門職大学			
		甲子園大学			
		エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社			
37	大1	関西学院大学	(1)人材育成に関する事項。	講義の聴講及び受講者との交流を通じて、職員の資質向上を図るため、法科大学院司法研究科への聴講生（職員）派遣を実施した。	通年
38	大2	関西学院大学	(1)人材育成に関する事項。	関西学院大学において、市長による「たからづか学」の講演を実施した。	6月
39	大3	関西学院大学	(2)まちづくりに関する事項。	第4回「OPEN！みんなで話そう！やまさき市長とともに」のテーマ「活かそう公園、地域のアイデアで！」において、応募のあった市民の方6名と包括連携先である関西学院大学2名・武庫川女子大学4名の学生で意見交換会を行った。	2月

No.	企業大学No	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
40	大4	甲子園大学	(3)健康増進、食育など市民生活の充実に関すること。	<p>第3次たからづか食育推進計画を策定したことを市民に周知、啓発を行うため、①市立芸術文化センターでバランスよく食べることの大切さや食事の行儀作法を学ぶための体験型イベントや食に関する正しい情報を発信するための食育クイズなどを行った。</p> <p>②市立西公民館において令和5年度の重点目標でもある地産地消や食育に関心を持っていただくためパネルやリーフレット等を作成いただいた。</p>	<p>①10月8日(日)</p> <p>②11月2日(木) ～11月15日(水)</p>
41	大5	甲子園大学	(6)その他、両者が協議して必要と認める事項に関すること。	<p>管理栄養士による離乳食完了期から幼児食への移行についてのアドバイスや保育士による親子遊び、甲子園大学栄養学科の協力による食育パフォーマンス、親同士のフリートークタイムなどを通して、子育ての負担感の軽減や親同士の仲間づくりを図ることができるよう、第1子の11か月児～1歳6か月児の保護者を対象に「もぐもぐかみかみタイム」を実施した。</p>	<p>7月 11月</p>
42	大6	甲子園大学	(6)その他、両者が協議して必要と認める事項に関すること。	<p>1歳児の心理的発達の概要を学び、意見交換をするなかで自分の子どもの状況や保護者としての関わり方についての確認と、子育て不安の解消の機会とするため、第1子で1歳児の保護者を対象に「1歳児きらきら子育て講座」を甲子園大学と共催で実施した。</p>	<p>8～9月 2月</p>
43	大7	甲子園大学	(6)その他、両者が協議して必要と認める事項に関すること。	<p>思春期の子ども心の理解と対応について学ぶとともに、意見交換をするなかで関係性を振り返り、より良い関わり方を考える機会として、概ね10～15歳児の保護者を対象に「思春期講座」を甲子園大学と共催で実施した。</p>	<p>8月 2月</p>
44	大8	武庫川女子大学	(1)まちづくりに関すること。	<p>令和5年度末に兵庫県が整備を完了する宝塚大橋の植栽帯のデザインを同大学に依頼した。大学院2年生がインターンシップの一環としてデザインを作成し、3月28日(木)に県の施工により完成した。</p>	<p>4～9月</p>

No.	企業大学No	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
45	大9	武庫川女子大学	(1)まちづくりに関すること。	第4回「OPEN! みんなで話そう! やまさき市長とともに」のテーマ「活かそう公園、地域のアイデアで!」において、応募のあった市民の方6名と包括連携先である武庫川女子大学4名・関西学院大学2名の学生で意見交換会を行った。	2月
46	大10	武庫川女子大学	(4)教育、文化・芸術、スポーツの振興に関すること。	たからづかデジタルミュージアム活用の取組の1つとして、子ども向け教育コンテンツ(絵地図)の制作を企画している。武庫川女子大学教育学部教育学科の教授とそのゼミ生(令和5年度の3年生)に、卒業研究の一環として絵地図制作の協力を依頼した。協力期間は2年間である。ゼミ生の多くが市外在住のため、6月には本市文化財審議会委員による講座を実施し、宝塚市の特徴や見どころについて学んだ。7月～8月には市内を巡る計3回のフィールドワークを実施し、9月以降はフィールドワークで撮影した写真やメモを元に習作として絵の描き起こしを行っていただいた。	4月～
47	大11	武庫川女子大学	(6)産業の振興及び活性化に関すること。	本市での20歳代の若手の起業件数が低迷している中、働く選択肢としての起業を認知していただくこと、また、起業について関心を持っていただくことを目的とし、武庫川女子大学で起業について考えるきっかけとなるセミナーを実施した。	11月
48	大12	武庫川女子大学	(7)防災、安全・安心に関すること。	空家の利活用を促進するため、学生が主導となり、市内の一部の区域について空家の現況調査、外観調査を行った。また、当該調査の参考材料として、本市で開催した空き家セミナー(7月28日実施)を利用し、参加者にアンケートを実施し、空家の利活用の意向等の情報を得る機会を学生に提供した。これらの調査結果を基に、空家の地域特性や、駐車場や庭のみを部分的に貸し出すことによる空家管理や利活用など、売却以外の利活用の可能性について卒業論文としてまとめ、情報提供を受けた。	6月～3月

No.	企業大学No	連携先	連携・協力事項	概要	取組時期(月)
49	大13	神戸女学院大学	(5)産業振興、文化・芸術、自然環境に関すること。	外国人市民の方に読みやすく、かつ理解しやすくするため、日本語教員養成課程を履修する学生等に市ホームページに掲載する文章や市民向けパンフレットなどをやさしい日本語に変換する作業を実施していただいた。	4月～
50	大14	神戸女学院大学	(5)産業振興、文化・芸術、自然環境に関すること。	学生の視点で観光情報の新たな発信方法を検討・提案していただく。下半期に学生からの提案を受ける予定であり、上半期はその準備として、市職員による連携授業や市内でのフィールドワークを行った。学生の視点で観光情報の新たな発信方法を検討・提案していただいた。	4月～12月
51	大15	神戸女学院大学	(5)産業振興、文化・芸術、自然環境に関すること。	文化芸術センターのピアノを神戸女学院大学音楽学部の学生に演奏いただき、「ガーデンコンサート」を開催した。市内に設置しているストリートピアノをPRすることができた。	3月
52	大16	芸術文化観光専門職大学	(3)次代を担う人材の育成に関すること。	芸術文化観光専門職大学の学生の地方創生実習として、市で受け入れを行った。中心市街地活性化(宝塚温泉の魅力向上)について提案をいただいた。	2月